



Y様邸

### ローコストでも質の高い仕上がりにこだわる、若き「職人集団」です

エクステリアの職人として働いていましたが、平成3年に工事店として独立。4～5年前から個人の施主様の注文が増え、現在は月に5～6件の設計・施工を手がけています。社員は、私が営業&設計を担当し、職人が8人、事務が1人で、合わせて10人。その大半が20代という若い会社です。当社は「販工店」でなく「工販店」だと思っています。私自身が職人だし会社もいわば職人の集団で、お客様のご要望を第一に、製品を売るよりもプランと工事の質にこだわっているんです。うちの強みは、自社で職人を抱えているため、施工を外注するところと比べて人件費のコストを削減できること。それに、みんなが職人として納得のいく仕事を心がけていますので、限られた予算のなかでも完成度の高い良心的な仕事をしているという自負があります。プラン提案は、4年前に御庭番を導入してから、きれいな図面が素早くつくれるので本当に助かっています。

その分打ち合わせの時間をたくさん取り、お客様とことん話し合っただけプランを練るようになってきました。たとえば現場に糸を張って、配置や「このぐらいの勾配になります」といった説明もしました。紙の上だけでなく、お客様が納得できる話し合いを持つようにしています。そのせいか出来上がりに非常に満足していただけのお客様が多く、コミュニケーションは重要なんだと実感しています。最新築されるお客様は30代の若い方が結構多いんですが、予算がなく、エクステリアにお金をかけられないという方がほとんどです。そんなお客様のためにも、なるべく安い材料を使って質の高いエクステリアを提供したいと思っています。そういう意味で、新素材の発掘にも力を入れ、最近ではスタンプコンクリートも導入し始めました。今後も、限られた予算のなかで、施工の確かなエクステリアづくりを模索していきたいですね。



代表取締役 中園貴博様

Y様邸 リフォーム設計のポイント  
広い庭の一部が区画整理で道路になり、それとともなってエクステリアをリフォーム。道路、外堀、前庭、玄関アプローチ、サンルームなどを新しく設置しました。建物とのバランスもよく、色調もトータルコーディネートされた美しいエクステリアが完成。外堀も床材も、明るいグレーに淡いピンクやグリーンを配してやさしい色調にまとめていますが、これは奥様のセンスが反映されたもの。道路づくりの基礎工事から、エクステリア各部の仕上がりまで、建設会社に勤めるご主人のお眼鏡にかなひ、ご満足いただいているそうです。



隣家との境界のフェンスには「メロディア」を採用して、さりげなく目隠ししながら間仕切り。リズムカルなアクセントにもなっています。



右奥の玄関に至るアプローチ。門扉は「キャスモア」を採用。床は雨水を吸収する舗装材をきれいにカラー割りして敷き詰め、レンガを散らして楽しいアクセントに。



庭には「プレオーレ」とウッドデッキ「ドリームスペース」も設置。ご主人はこのサンルームがお気に入り、いつもご夫婦で仲良くくつろがれているとのこと。

